

## 主題：命の木

メッセージ 15

神の統治の下で神の恵みによって命の木としてのキリストを経験し、  
神の建造のためにキリストの複製となる

聖書：Ⅰペテロ 1:2-3, 8. 2:2-5, 9, 21, 24. 3:7. Ⅱペテロ 1:1-4

- I. 命の木は十字架につけられ復活したキリストであり、彼は召会の中において、召会の究極的完成は新エルサレムであり、召会の中で十字架につけられ復活したキリストは命の木であって、神の贖われた人々を養い、永遠に至ります——Ⅰペテロ 1:8. 2:24. 啓 2:7. 22:2, 14。
- II. ペテロの第一と第二の手紙は、神の宇宙的な統治についてです：
- A. ペテロの第一の手紙の主題は、神の統治の下にあるクリスチャン生活であり、特に神の選ばれた人々に対する神の対処において、神の統治を見せています——1:2。
  - B. ペテロの第二の手紙の主題は、神聖な備えと神聖な統治であり、神がわたしたちを統治しているとき、わたしたちが必要なものは何であれ、わたしたちに供給することを見せています——1:1-4. 3:13。
  - C. ペテロの文書の尊さは、クリスチャン生活と神の統治を結び付けていることであり、クリスチャン生活と神の統治が並行することを啓示しています——Ⅰペテロ 1:17. 2:21, 24. 3:15. 4:17. 5:5-8。
  - D. ペテロの第一と第二の手紙の主題は神の統治ですが、これはその書簡の中心的な焦点また基本的な構造ではありません：
    - 1. 神の統治に関するあらゆることは、わたしたちをこれらの書簡の中心的な焦点と基本的な構造に連れ戻すべきです。それはわたしたちの満ち満ちた享受としての三一の神です——Ⅰペテロ 1:2-3。
    - 2. ペテロの第一と第二の手紙の中心的な焦点と基本的な構造とは、活気づける三一の神が活動して、彼の全体的な救いを完成し、わたしたちが再生され、彼の言葉から養いを受け、成長し造り変えられ、建造されて、彼が住まいを持ち、わたしたちが栄光化されて彼を表現するということです——Ⅰペテロ 1:23. 2:1-5, 9。
- III. わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの原型としてのキリストの複製となります——Ⅰペテロ 2:21：
- A. 神の統治の下での主イエスの生活は原型であって、それはわたしたちが彼の複製となることによって、彼の足跡に従うためです——21-23節. エペソ 4:20-21。
  - B. わたしたちがキリストの複製となるのは、神聖な命の豊富がわたしたちの中へと分与され、わたしたちによって経験されることと関係がある過程によってです——3:8。
  - C. わたしたちの原型としてのキリストの複製となるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの中に生き、わたしたちの中で形づくられ、わたしたちの心の中にご自身のホームを造る方として経験する必要があります——ガラテヤ 2:20. 4:19. エペ

ソ 3:16-17 前半。

- D. 第一の神・人としての、苦難の生活を伴うキリストは、わたしたちにとって原型です。わたしたちは、キリストの生活の複製、複製である生活を生きる必要があります。それは、わたしたちの苦難における恵みとしての彼を享受することから出て来ます。それは彼ご自身が内住する霊として、彼の命のすべての豊富を伴って、わたしたちの中で彼ご自身を複製するためです—— I ペテロ 2:18-25。

**IV. わたしたちはキリストの複製となりつつある者として、命の恵みの相続人です—— I ペテロ 3:7 :**

- A. 恵みとは、わたしたちの享受としてのキリストご自身です——ヨハネ 1:14, 16-17。  
B. 恵みとは、キリストが命を与える霊としてご自身を無代価でわたしたちに与え、わたしたちにとってすべてとなり、わたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのためにすべてを行なうことです—— 14, 16-17 節. II コリント 1:8-9, 12. ガラテヤ 2:20. I コリント 15:10。  
C. 命の恵みとは、わたしたちにとって命また命の供給としての、神聖な三一（命の源としての御父、命の経路としての御子、命の流れとしてのその霊）における神であり、彼はわたしたちの内側を、御子と御父と共に、わたしたちにとって恵みとして流れます—— I ヨハネ 5:11-12. ヨハネ 7:38-39. 啓 22:1。

**V. ペテロの手紙と聖書全体の中心思想は命と建造です—— I ペテロ 1:23. 2:2-5. II ペテロ 1:3-4 :**

- A. 命とは、キリストの中で具体化されその霊として実際化された三一の神が、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの享受となることです。建造とは、召会、キリストのからだ、神の霊の家であり、神の拡大また拡張として、神の団体の表現となることです——創 2:8-9, 22. マタイ 16:18. コロサイ 2:19. エペソ 4:16。  
B. キリストは、命の種として、わたしたちの内側の命の力であり、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、わたしたちにすでに与えています。それは、命の成長と発展を通して、命の豊富な余剰また命の表現としての召会を建造するためです—— II ペテロ 1:3-4. 参照、使徒 3:15. 詩歌, 154 番, 4 節。

**VI. 神の目標は、生ける石で建造された霊の家を持つことです—— I ペテロ 2:5 :**

- A. キリストはわたしたちの命として、朽ちない種です。神の建造のために、彼は生ける石です—— 1:23. 2:4。  
B. 主はペテロとの会話で彼に、ペテロ（石）という新しい名を与えました（ヨハネ 1:42）。ペテロがキリストに関して啓示を受けたとき、主は彼が岩（石）であることをさらに啓示しました（マタイ 16:16-18）。ペテロはこの二つの出来事によって、キリストも彼の信者たちも、神の建造のための生ける石であるという印象を受けました（I ペテロ 2:4-8. 使徒 4:10-12. イザヤ 28:16. ゼカリヤ 4:7）。  
C. わたしたち、キリストにある信者は、再生と造り変えを通して、キリストの複製としての生ける石です。わたしたちは土くれによって創造されましたが（ローマ 9:21）、再生の時、神聖な命の種を受けました。命の種はわたしたちの中で成長することによって、わたしたちを造り変えて生ける石とします（I ペテロ 2:5）。

**VII. 神の建物は生きていますので、成長しつつあります。神の家としての召会を実際的に建**

造することは、信者たちの命における成長によります——エペソ 2:21 :

- A. わたしたちは神の建造のために命において成長するために、主を愛し、わたしたちの霊に注意し、何ものにもまさってわたしたちの心を見守り、命の道にとどまらなければなりません—— I ペテロ 1:8. 2:2, 5. 3:4, 15. 箴 4:18-23. 申 10:12. マルコ 12:30。
- B. わたしたちは神の建造のために命において成長するために、悪巧みのない神の言葉の乳で養われなければなりません—— I ペテロ 2:2 :
1. 悪巧みのない乳は、神の言葉の中で伝達されて、わたしたちの理性的な思いの理解を通して、わたしたちの内なる人を養い、わたしたちの心の機能によって消化されます——ローマ 8:6. 参照、申 11:18。
  2. 言葉の養う乳は思いを通して魂のためですが、最終的に霊を養い、わたしたちを魂的ではなく霊的にし、神の霊の家として建造されるのにふさわしくします——参照、 I コリント 2:15。
  3. わたしたちは言葉の中の養う乳としてのキリストから養いを得ることによって、成長して完全な救いへと至り、造り変えを通して栄光化のために円熟へと至ります。 I ペテロ第 2 章 2 節の救いは、神の建造のための造り変えの事柄です。
  4. わたしたちは、わたしたちを養う「乳・キリスト」を享受して、「石・キリスト」としての彼をもって造り変えられ、「からだ・キリスト」として、神の霊の家として建造されていながら、聖なる祭司の体系となります—— 2-5 節. I コリント 12:12-13。

**VIII. 聖なる祭司の体系、祭司の組み合わされた団体は、建造された霊の家です。神は彼の住まいのために霊の家を、また彼の奉仕のために祭司団、団体の祭司の体系を求めています—— I ペテロ 2:5. 出 19:5-6 :**

- A. わたしたちは「選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民」です ( I ペテロ 2:9)。「選ばれた種族」は、わたしたちが神から下って来たことを意味します。「王なる祭司の体系」は、わたしたちが神に仕えていることを意味します。「聖なる国民」は、わたしたちが神と交流していることを意味します。「所有として獲得された民」は、わたしたちが神にとって尊いことを意味します。
- B. わたしたちの団体的な祭司の奉仕は、わたしたちを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を、福音として告げ知らせ ( 9 節)、わたしたちが「イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげ」ることです ( 5 節後半)。